

Fine pH9 標準液(pH9.18)

作成日 2012 年 10 月 29 日
改定日 2023 年 2 月 10 日
版 3

製品安全データシート

1.製品及び会社情報

製 品 名 : Fine pH 標準液(pH9.18)
会 社 名 : 東京硝子器械株式会社
担当部門 : 営業業務部
住 所 : 東京都文京区本駒込 1-7-16
電話番号 : 03-3252-8424

2.危険物有害性の要約

(GHS 分類)

物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/皮膚刺激性/眼刺激性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分 1B
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない

(上記に記載がない危険有害性の項目は、「該当しない/分類できない」を示す。)

(GHS ラベル要素)

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
注意書き	
安全対策	安全注意を読み理解してから取り扱うこと。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

Fine pH 標準液(pH9.18)

応急措置	眼に入った場合は直ちに流水で洗い流し、必要に応じ医師の処置をうける。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。
保管	密栓して冷暗所に保管
廃棄	都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物(水溶液)

化学名	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号
四ホウ酸ナトリウム 十水和物	0.38(ホウ素と して 0.043%)	$\text{Na}_2\text{B}_4\text{O}_7 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$	(1)-69	1303-96-4
水	99%以上	H_2O	—	7732-18-5

4.応急措置

吸入した場合	きれいな空気環境の場所に移動させ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合	水で洗い流す。必要に応じて医師の手当て、診断を受けること。
飲み込んだ場合	多量の水を飲ませて医師の手当て、診断を受けること。

5.火災時の措置

適切な消火剤	この製品自体は不燃性である。
使ってはならない消火剤	情報なし
特有な消化方法	周辺火災の場合は、容器を安全な場所へ速やかに移動する。 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護	消化作業の際は必ず保護具を着用する。
-----------	--------------------

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	必要に応じて、保護眼鏡、ゴム手袋等を着用し、試薬が皮膚に付いたり、吸入しないように注意し作業を行う。
--------------------------	---

Fine pH 標準液(pH9.18)

環境に対する注意事項 漏出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。汚染された廃水が処理されずに環境へ排出しないよう注意する。

封じ込め、浄化の方法及び機材 ウェス、紙で拭き取る。

7.取扱い及び保管上の注意

(取扱い)

技術的対策 出来るだけ皮膚などに付けないようにする。

必要に応じて局所排気装置を使用すること。

安全取扱注意事項 皮膚および眼との接触を避ける。必要に応じて、個人用保護具を着用すること。

(保管)

適切な保管条件 直射日光を避け、容器を密閉にして冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8.暴露及び保護色借置

設備対策 蒸気又はヒュームやミストが発生する場合、局所排気装置を設置する。

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 混合物としての情報はなし。

(保護具)

手の保護具 必要に応じて保護手袋を着用する。

眼の保護具 眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具 必要に応じて着用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理状態 液体

色 無色

臭い なし

融点/凝固点 約 0℃

沸点又は初蒸留点及び沸騰範囲 約 100℃

可燃性 データなし

爆発下限及び爆発上限界/可燃限界 データなし

Fine pH 標準液(pH9.18)

引火点	不燃性
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	9.18(25℃)
動粘性	データなし
溶解度(水)	水:混和する
n-オクタノール/水分配計数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	約 1g/cm ³
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10.安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	情報なし。通常使用において安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	高温と直射日光
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解性物質	情報なし

11.有害性情報

急性毒

(経口)

製品情報	区分に該当しない
成分情報	区分に該当しない
LD50	4.450mg/kg(ラット)

(経皮)

製品情報	区分に該当しない
成分情報	四ホウ酸ナトリウム務・十水和物:区分に該当しない
LD50	10.000mg/kg(ウサギ)

(吸入・ミスト)

製品情報	データ不足により分類できない
成分情報	四ホウ酸ナトリウム務・十水和物:分類できない

Fine pH 標準液(pH9.18)

皮膚腐食性/皮膚刺激性

製品の情報 混合物の皮膚腐食性/皮膚刺激性成分濃度により区分に該当しない。

成分の情報 四ホウ酸ナトリウム 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品の情報 混合物の眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性成分濃度により区分に該当しない。

成分の情報 四ホウ酸ナトリウム 区分 2

呼吸器感作性又は皮膚感作性 データ不足により分類できない

生殖細胞変異原性 データ不足により分類できない

発がん性 データ不足により分類できない

生殖毒性

製品の情報 混合物の生殖毒性成分濃度により区分 1B とした。

成分の情報 四ホウ酸ナトリウム 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

製品の情報 混合物の特定標的臓器毒性(単回ばく露)成分濃度により区分に該当しない。

成分の情報 四ホウ酸ナトリウム 区分 1(中枢神経系、消化管)、区分 3(軌道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

製品の情報 混合物の特定標的臓器毒性(反復ばく露)成分濃度により区分に該当しない。

成分の情報 四ホウ酸ナトリウム 区分 1(呼吸器、神経系)

誤えん有害性 情報なし

12.環境影響情報

生態毒性 情報なし

残留性・分解性 情報なし

生態蓄積性 情報なし

土壤中の移動性 情報なし

オゾン層への有害性 情報なし

Fine pH 標準液(pH9.18)

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	少量の場合は水で希釈し、下水に流す。 又は、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
汚染容器及び包装	容器は、水で洗浄し、通常のプラスチックゴミとして自治体の基準に従った処分する。

14.輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合には、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。必要に応じて、荷送り人は運送業者に運搬注意書などを交付すること。
海上規制情報	船舶安全法に従うこと。
航空規制情報	航空法に定めるところに従うこと。
国連番号	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
緊急時応急措置番号	なし

国際規制

航空規制情報 (航空法は IATA 規則に従う。)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連危険物分類	該当しない
容器等級	該当しない
副次危険	該当しない

海上規制情報 (IMDG の規則に従う)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連危険物分類	該当しない
副次危険	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない

輸送の特定の安全対策及び条約 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れの無いことを確かめ、落下、転倒、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う

Fine pH 標準液(pH9.18)

15.摘要法令

化学物質管理促進法 (PRTR) 該当しない

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2）別表第 9 政令第 544 号

毒物及び劇物取締法 該当しない

水質汚濁法 有害物質(法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条)

16.その他の情報

引用文献

1. NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構 HP)
2. 職場のあんぜんサイト（厚労省 HP）
3. JIS Z7252-2019 及び Z7253-2019
4. 化学大辞典 共立出版社

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。又、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。尚、注意事項は通常の実用を前提としていたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。